

現在ふきのとうが「サービス等利用計画」を作成している利用者様が地域で生活されている方、入所施設を利用されている方など合わせて、百三十名を超える方へのお手伝いをさせて頂いております。一人ひとりの意思・選択・決定を大事にし、聞き取った内容を年齢やライフスタイルに合わせて「本人が望む姿」に表しています。その計画をもとにサービス提供事業所との調整会議を開催し、チームで支援するという輪を作り、利用者様が目ざす生活を協力して支援するという流れが出来つつあり、日々感動しております。

また、細かなニーズもサービスに繋がること、大きな課題がありながらもサービスに繋がらず見守り継続支援の必要な利用者様など、ご相談を受けている中で今のサービスでは行えないことなどがあり、新たなサービスを作っていく契機と捉えたいと思います。

「サービス等利用計画」を作成する意義をこれからも広く皆様に知って頂けるよう微力ながら関係機関と連携し発信できればと考えております。

すみれの現状報告をいたします。施設名を「グリーンキーパーすみれ」としておりましたが、「すみれ」のみの表記に統一する運びとなりました。

建物は、十一月十九日に地鎮祭を済ませ、十二月一日より工事着工により、現在屋根がついたところまで工事は進んでおります。

事業内容については、就労移行事業所のない実業で、市からの要望があり、就労移行事業所も追加し、就労継続A型事業所を多機能型事業所に変更する計画にいたしました。

四月一日開所を目指し日々準備に追われておりますが、いたらぬ点等ございましたら早急に対処いたしますので、お声かけ下さいますようお願いいたします。



↑ 地鎮祭の様子2014.11.19



↑ 現在建設中の「すみれ」

《 発行 》  
社会福祉法人 はなさきむら

〒679-5203 兵庫県佐用郡佐用町米田字寺山304-24  
TEL 0790-78-1350 FAX 0790-78-1221

- ： 多機能型事業所 はなさきむら作業所
- ： 特別養護老人ホームはなみずき
- ： グループホーム コスモス
- ： なのはな
- ： ふきのとう
- ： 多機能型事業所 すみれ

- 生活介護・就労継続支援B型・就労移行支援
- 介護老人福祉施設・短期入所生活介護
- 共同生活援助
- 指定生活介護事業所
- 障害者児指定特定相談支援事業所
- 就労継続支援A型・就労移行支援

# はなさきむらだより



## 社会福祉法人の社会的使命に思いを馳せて

理事長 目黒 輝美

新春のお慶び申し上げます。平和な世の中が続くように願いながら、地域に根ざし、地域に貢献するとともに、地域に支えられる社会福祉法人を目標として、職員一同心を込めて活動をしていきたいと決意を新たにしております。

皆さまには平素大変お世話になり、本当にありがとうございます。本年も高齢の方、障がいのある方、いろいろなサポートを必要とされている方々にとって必要とされるサービスの提供者としてご期待に沿えるよう努力することで、皆さまのご支援・ご協力にお応えしていきます。

社会福祉法人制度の見直しが進められている現状をしっかりと認識し、制度の枠にとどまらない先駆的な実践を進めていきたいと考えております。社会福祉法人こそ社会のセーフティネットの役割を担っていることを自覚し、すべての人の人権が尊重される社会を作ろうという流れを押し進めることができるように精進いたします。障がい者雇用において、4%以上の雇用率を達成してきた実践をより発展させることも課題です。

社会福祉法人であっても、福祉予算だけに頼らない自前の事業を確立することもこれからの課題と考えております。

実粟市に「すみれ」という就労継続支援A型の事業所を、平成二十七年四月一日に開所することから始めて、シカ肉ドッグフード事業を開拓し、過疎・高齢化の進む地域の町興しにも役立つことを目指します。地域で暮らしていくことを実現する障がいのある方のグループホームの拡充や、介護サービスの新しい方針に沿った高齢者福祉サービスの提供など、常に歩み続けるはなさきむらとして、本年も活動してまいります。

## はなさきむらチャレンジプロジェクト

はなさきむらに就職することを目ざして活動してきました。その中から四名のはなさきむら利用者様がパートとして就職し、彼らをモデルとして、自分も就職したいと頑張っているはなさきむら作業所利用者様が続きます。就職した四人は、仕事も生活も楽しいものにして、それぞれの得意を活かした手料理会や、自分たちで予約した新年会など、仲間のつながりを深めています。チャレンジプロジェクトのメンバーは、昨年十月に自分たちの活動についてはなさきむらの利用者様に対する発表会を開きました。この発表はとても素敵で、神戸新聞にも掲載され、「住み慣れた地域でずっと暮らすために」フォーラムの委員の皆さまからも高い評価を受け、もっと多くの人に発信していくべきだという結論になりました。就職を目標として活躍しているNPOイネイブルの利用者の参加を得て、「当事者」が運営するイベントとして計画しようと話し合っています。

## 各事業所からの活動報告

### はなさきむら作業所

管理者 目黒 有博

新年を迎えました。皆様方にはいつもご支援ありがとうございます。

パン工房はなさきむらは、十月にテクノ店をリニューアルオープンし、午後六時まで営業、本格的なピザとコーヒーを提供します。売上も少しずつですが伸びています。近くにこられましたらぜひお立ち寄りください。

木工班は、花しょうぶ園の遊歩道の修繕を手伝い、あずま屋を作りました。さようチャネルで放送され、神戸新聞にも掲載されました。

ぶどう班は、三日月ぶどう祭で佐用町長賞をいただく成果をあげました。ぶどうの収穫が終わり、畑に敷く茅集めや休眠期に入ると枝

に入ると枝切りを行い、二月に

新しい木の芽傷をする予定です。キッチンでは二名がなごみとはなみずきの厨房に実習に出かけ、就労に向けて第一歩を踏みだしました。また今年度はキッチンを希望する人が三名から五名に増えました。

チャレンジプロジェクトは、今までの歩みと活動内容を、はなさきむら作業所内の利用者に発表しました。今後は、西播磨地区の施設間連携により、任み慣れた地域でずっと暮らすために「フォーラム」での発表を検討しています。

今年度もご支援・ご鞭撻をどうかよろしくお願い申し上げます。

### 特別養護老人ホームはなみずき

施設長 藤川 雄樹

旧年中は、ご入居者様、ご家族様、地域の皆様方、関係各位の皆様方から温かいご支援、ご協力を賜りました事、職員一同感謝の念を新たに致しております。

法人内各事業所におきましては、様々な行事やボランティア活動に積極的にご参加を頂き、誠にありがとうございました。

十年後に迫る二〇二五年、超高齢化社会が身近に感じられるようになりしました。私たちの地域でも、福祉や医療の变革が始まっておりま

す。はなみずきも早いもので二〇一五年八月には十周年を迎えます。これも皆様の、ご支援の賜物と深く感謝しております。

今年四月には、介護保険法改正により、施設介護から在宅介護へと大きく転換されることが予想され、今まで以上に激動の一年になると思われます。

### グループホームコスモス

管理者 塚崎 暁則

新年明けましておめでとうございませう。本年も変わらぬ皆様のご支援のほどよろしくお願い致します。

昨年は、障害者総合支援法によるグループホームとケアホームの一体化が行われました。これにより、コスモスでは「介護サービス包括型」へ移行いたしました。以前のサービスよりもより良いものを目ざし、職員一同取り組んでまいります。

目まぐるしく変化する制度のなかで分からない点など多々ありながらも関係機関と連携をとり、今の状況を乗り越えて行きたいと考えております。

また、佐用町佐用で新たな

ホームを開所いたしました。

名称は「りんどう」です。男性ホームとしてワンルームの二階建てで運営をいたします。一人暮らしに近い環境を提供でき、新たな生活をスタートされます。ドキドキの期待と不安いっぱいではありますが、一人暮らしを経験できる最高のチャンスと捉え、生活される利用者様には楽しんで頂きたいと思っております。

最後になりましたが、このようにグループホームを展開出来ることに地域の皆様、ご家族、関係機関のご理解とご協力があることに感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

### 指定生活介護事業所なのはな

施設長 小林 正和

新春のお慶びを申し上げます。なのはなは、昨年末までで通算八百十六日開所し延べ 五一七七人の方に利用して頂きました。

重い障がいがあるとされる方々の人生の充実を目指し、一日一日一人ひとりの歩みを積み重ねてきました。

昨年は、USJ・王子動物園・明石公園への旅行、Xmasプレゼントを探すための買い物、チューリップ畑や紅葉の中への外出、秋祭りや花火大会など地域行事への参加や、久崎小学校との交流や喫茶の開催ができました。

一方、社会保障費縮小の流れの中、国県市町から頂いているなのはなの収入は、今春から利用者様お一人当たり一パーセント減少する見通しです。

障がい福祉サービス及びなのはなの価値を、様々な視点から社会にアピールしていかなければならぬと感じています。

各利用者様の個性・特性が、なのはなの中にもちろんですが地域の中においても、活きるように、コーディネートしていくよう、職員一同本年も研鑽を積んでまいります。

最後になりましたが、いつも応援して下さる利用者様のご家族、読み語りやピアノ演奏、喫茶の配膳下膳、創作活動や身の回りのお手伝いを一緒にして下さるボランティアの方々、温かく見守ってくださる地域の方々に、御礼申し上げます。今年後ともご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

